

統計データの価値を最大化して施策推進

統計データを各種施策の推進に合わせて集計・分析、視覚的に分かりやすく編集して施策の推進に重要なツールとして活用。

○ 施策分類

統計

○ きっかけ・背景、課題の把握

「必要とされる統計資料」を目指し、資料の活用が見込まれる島根県及びJAしまねの担当者と意見交換したところ、島根県の特徴や課題を整理した各種データの取りまとめが重要であるとの意見を得た。このことを踏まえ、島根県における農業・農村の基礎データの分析に取り組むこととした。

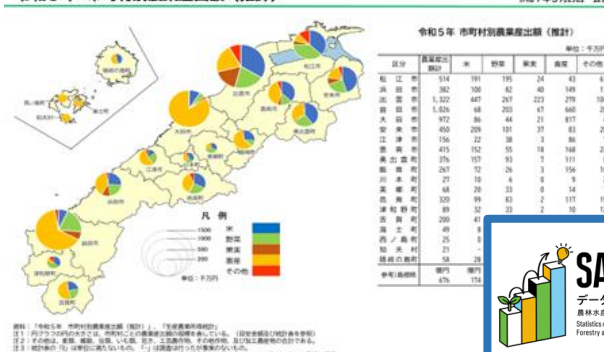
○ 取組の内容

- ・データを「ひと・もの・むら」に分類して、50項目の分析を実施。
- ・目次を作り章立てし、利用者が知りたい内容がどこにあるのかが分かりやすくした。また資料全体の体裁や色使いを意識して見やすくした。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・資料に統一感が出たことで、これをベースとした市町村版、地域版といった相手に合わせた資料作成が容易になった。
- ・島根県及びJAしまねに提供し、それぞれ「[第2期島根県農林水産基本計画](#)」（島根県）及び「[第4次農業戦略実践3カ年営農計画](#)」（JAしまね）に活用された。
- ・自治体や地域計画に係る会議及び農業者等の会議等に資料を作成、提供した。特に市町村版に対し「担当部署（農政課）の職員全員に共有した。今後は県やJA地区本部、農業委員会などの関係機関との協議にも活用する。」「2025年農林業センサスを反映した資料が早く欲しい。」「同様の資料を自分たちでも作成したい。」といった反応があった。

令和5年 市町村別農業産出額（推計）



分析資料「データでみる島根県の農業・農村をとりまく状況」
https://www.maff.go.jp/chushi/info/bunseki/bun_siryu.html

